

## 新年度の挨拶

看護部長 森本タケ子



今年度4月に九州労災病院から転任しました。満開の桜と皆様の笑顔に迎えられ安心して愛媛労災病院の一步を踏み出すことができました。

今年巳年です。蛇は医療・技術の象徴として使われており、生まれ変わり、再生、治癒を象徴しています。この1年は、愛媛労災病院看護部にとっても重要な年となります。当院看護部は、「働く人々のために、そして地域の人々のために、信頼される医療を目指します」の病院理念の下、専門的な知識・技術に基づいた、**誠実・信頼・思いやり・尊重**を大切に、心温まる看護を実践していきます。看護師一人ひとりが常に新しい発想の転換を行い、**看護の質**で選ばれる看護部になるように願っています。

看護する喜びを味わうことができる看護師に育つように支援していきたいと思えます。看護部の皆様、看護部の団結力を発揮し愛媛労災病院を再生しましょう！

## 着任の挨拶

看護副部長 河村寿子



私が神戸労災病院に転勤して、あっという間に3年が過ぎました。本当に色々なことがありました…。詳しいことは、ここでは言えませんが…。

着任当時、新米副部長、兼、HCUを含む心外、循環器内科病棟の師長として私は不安や困惑することはいっぱいでした。しかし、病棟のNs、Dr、患者さん…他、大勢の方々が私に力をくれました。ちょっと変な言い方ですが、私をあてにしてくれました。これが何よりの支えでした。そして、「人の脆さと強さ」「人は宝もの」と言う事を知りました。

駄目だとレッテルを貼られたと感じた時から、人は足を止めてしまいます。信じる気持ちは人を強くし、その期待に応えたくて背伸びします。それが成長に繋がると思っています。人の言動の一つ一つが勇気をくれたり、凹んだり…私も、少し強くなれたように思います。当初は本当に転勤を後悔しましたが、今は心から良かったと思えます。神戸での経験をこの愛媛で活かせるように頑張りますので、どうぞよろしく願います。

## 新入職員紹介

関西で約10年間働き、新居浜に戻ってきました。戻ってからは、介護メインの所で働いていましたが、もっと医療に携わりたいという思いから、病院に入職しました。

2年間のブランクで不安を抱えていますが、頑張っていきたいと思えます。

そして、外科の知識を深めると共に、患者さんの印象に残る看護師を目指したいです。

引っ越しを機に高知の病院から愛媛労災病院に来ました。今までは内科病棟で仕事をしていたのですが、今回外科病棟に配属になりました。

病院が変わるとわからないことだらけですが、部署の方々に色々教えて頂きながら、一つずつ覚えていきたいと考えています。

患者様に「ありがとう。」「ここに入院してよかった。」と言われるような看護を目指していきたいと思えます。

私の母は看護師で、小さな頃から母の働く姿を見ているうちに看護師になりたいと思うようになりました。もともと人と接することが好きで、看護師を目指し無事に看護師になることができました。

患者様だけでなく、家族とも信頼関係を築かなければ、より良い看護には結びつかないと思っています。

疾患の状態を観察するだけでなく、患者様や家族の話を傾聴して、不安な気持ちが軽減できるように寄り添っていきたいです。

そのためには、看護師としての技術やコミュニケーションが不足しているので、いろいろなことに対して苦手意識を持たずに、これから新人看護師として頑張っていきたいと思えます。

今年度からナースレターは、看護サービス向上委員会からの発行となりました。

常に真剣に考えていると、ちょっとしたヒントで新しいアイデアがひらめくことがあります。考えるということを習慣づけるのは、この小さな変化を探すことだと思います。

新体制の下力を合わせて頑張らしましょう。